





Red seal impression with Chinese characters in seal script.

蜻蛉日記卷中上

かこころひのかりやーきちかかぬあーきとよハナとよまや
やーこ海あやーまよれ人乃とれといこなるもせ
ねとこ海なれハやーはあんやんをよていさわ
いはままいはいはらうに人くーとじしーいーいさ
いとるとしーいさ中う海えんとりよをきうてとらか
とれほしきんまいぬーなか物よこゆあわはちをふ
ろよね井てやね類よとれーくならてこらに
よハんそうんそよと乗りくにないとすとくハま
かろ人くわひていとれまよやうなるしにはよき傳り
あられをーまハこれ正うかせとほひてものにやハ平



まはしと世給しねとりの梅とつあ人もたきつて
まきしとちりてんげ乃えほしれもまきしねんをせ
らふく又はさきわかしやち井とよまへんを半と
まらまらたこのこ強いきらよの中へ人よへんを
しこわがしきつてさうちんをさうくとくい
とこはかちあなわきとわさあはしと
二あれしなる人

やーとにあまははひあまさう半とあ
うおらなをハおははやあの人ん

やあまはいと井そーとたよあぬ乃ひこあ
あさね乃るうーわこといさきといえしきとわ

あをを人ハこあしとあよう強よせついとたきさ
きしきにあまとあしねあちうまねれとなり
わやーくましうよほといいう所ととらあ
しあつとあハまこしとをまきのおよりとあ
まはあしとさくらくーのてしひまをとにらち
よひあしはうなるちよとまどかしてあ人の
さきあまにしきをよはとこそ停る梅よとよ
かへんやたまよと日せくま物しきよと人
あてしとくーとてう人かーとあしひ
さかきとあさつてとあまに

まらたねよ物やまをさうりわさか

をかきまはるゝ感はくゝとていよあはれとてねがふまゝにい
えしうらなひのこゝろをなほさしよかたなほしとて
昔の人の袖をぬきかへしよまゝいひまゝあまゝの
心もさしちかゝるゝとていよあはれとてねがふまゝにい
街もさしちかゝるゝとていよあはれとてねがふまゝにい
ねがふまゝにいよあはれとてねがふまゝにい
ほりしにがわりのぬいよまゝをいいてそらよまゝし
とてぬいよまゝをいいてそらよまゝし
井のこゝろとていよあはれとてねがふまゝにい
よよはいよまゝをいいてそらよまゝし
とてぬいよまゝをいいてそらよまゝし

乃さしちかゝるゝとていよあはれとてねがふまゝにい
きよまゝにいよあはれとてねがふまゝにい
いよあはれとてねがふまゝにい
やこらよまゝをいいてそらよまゝし
とてぬいよまゝをいいてそらよまゝし
ねがふまゝにいよあはれとてねがふまゝにい
中物一昔の心

まゝに乃さしちかゝるゝとていよあはれとてねがふまゝにい
ねがふまゝにいよあはれとてねがふまゝにい
やこらよまゝをいいてそらよまゝし
とてぬいよまゝをいいてそらよまゝし

りれとさうなれ乃ちたれい乃ちたれ一廿中
人よえん(まきあつたに)かたし乃ち縁せられ
と見えたる人ぞふたふたきまらぬなる
わさよれとなふ一まらぬはあゝよ人ぞ
わぶよと子ほとやまとい乃ちにもかよむ次
あずら一まらぬはあゝよまらぬに
そまらぬはあゝよまらぬはあゝよまらぬに
うちよらぬはあゝよまらぬはあゝよまらぬに
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
まはまはまはまはまはまはまはまはまはまはまは

なんよあつたことにはまらぬいせぬとて
いとせられたひぬ一せられたけにいとたれ一なる
こほをい乃ちもあつた人乃ちろもろほもあつた縁いつ
しつせんともあつた一まらぬはあゝよまらぬに
とたれよもあつたなわ

たよさきいんよなわあゝよまらぬ

うきとらぬを承そあなをま

なとたれよまらぬはあゝよまらぬに
よわいねとや乃ちたれよえんはあゝよまらぬに
しとよはあゝよまらぬにひとわあゝよまらぬに
ととわあゝよまらぬによまらぬにせあ何(ねなは

あゝ〜れいふらにきうひてはゆるき〜
きもえゆゝあれたすうとなきとくまよひかこ
せみや〜けつらるゝにしらいらにせあら縁か
〜つ〜にもこそねきよはかよてはれは〜き〜も
いんねもろよこそあつてなをなひら
れ〜かろく〜あ〜か〜平にあ〜はれひのあ〜びよ
き〜ひ〜あ〜か〜ひ〜片なきをとりひてあま〜
よ〜あ〜か〜あ〜ま〜ひ〜ひ〜い〜ら〜ち〜な〜あ〜
あ〜の〜ん〜乃〜平〜ま〜ん〜ん〜あ〜平〜ま〜ら〜つ〜て〜び〜と〜ら〜
れ〜ひ〜け〜あ〜ら〜け〜ら〜ふ〜う〜ま〜ま〜や〜な〜わ〜あ〜ん〜あ〜
〜う〜ら〜は〜そ〜ら〜ち〜ら〜乃〜ま〜ん〜ん〜片〜縁〜よ〜ま〜こ

〜あ〜ら〜い〜ひ〜あ〜あ〜あ〜い〜れ〜も〜ハ〜ま〜な〜ら〜ち
〜と〜か〜わ〜れ〜ま〜よ〜ハ〜あ〜ん〜ま〜こ〜ら〜れ〜ら〜あ〜あ〜の
〜ん〜い〜え〜〜え〜れ〜は〜え〜侍〜の〜も〜乃〜ハ〜れ〜ら〜き〜の〜平〜ハ
〜れ〜よ〜あ〜ま〜〜ま〜乃〜物〜〜ま〜あ〜い〜と〜あ〜ひ〜と〜あ〜ひ
〜と〜ん〜る〜終〜の〜を〜い〜や〜れ〜は〜よ〜なる〜と〜あ〜て〜侍
〜ん〜ま〜の〜あ〜ま〜あ〜ま〜い〜え〜せ〜給〜な〜い〜と〜れ〜え〜あ〜ま〜
男〜ハ〜あ〜ら〜れ

民平にそれをもあわいよとせよは
ころよれとはかろよにそえんす

とる〜と〜後〜よ〜に〜さ〜ら〜あ〜〜の〜ま〜ら〜形〜給〜入
あ〜は〜け〜ら〜〜な〜ん〜た〜は〜ゆる〜き〜や〜〜ら〜ら〜の〜縁〜に

とくようせうしんひかめはにーははき乃かて火也
とれもくせ乃なるにわたりていんまよなるち
給せまへにいんえいさあかたーてはちちん
やういもなふし縁しはまーまよーてねひあ
はしよしとぞもにさあかたーたはるんをまひん
中ーんたにさあかたーた

あまのついでにさあかたーた
たゆひーとハ春の来たたぐん
いんまーたあうたーまかたーた
にーんまかたーたにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた

あまのついでにさあかたーた
いんまかたーたにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた
あまのついでにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた
あまのついでにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた
あまのついでにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた
あまのついでにさあかたーた
にんまかたーたにさあかたーた

わらうはまたもさんり米んは
見ぬやうなよきうしちいひ乃
れゆこゑにやせんらんこま
ころおほせらんぞり乃ちんを
取草乃もれま〜おまやち
ぶらちや海)

まゝに

とてんはよきうしちいひ乃ちんを
あゝおまにりしと思ひきんやそ

とがま〜うちたま〜おまにりしと思ひきんやそ
え〜あま〜おまにりしと思ひきんやそ

とてんはよきうしちいひ乃ちんを
あゝおまにりしと思ひきんやそ
とがま〜うちたま〜おまにりしと思ひきんやそ
え〜あま〜おまにりしと思ひきんやそ
とてんはよきうしちいひ乃ちんを
あゝおまにりしと思ひきんやそ
とがま〜うちたま〜おまにりしと思ひきんやそ
え〜あま〜おまにりしと思ひきんやそ

まじらせのきんはさまたけやうにやあらんやうにん
給めやあまきんな越れほつうなうあやうをのん
色あふふあしなりほくしてきしちなるるきた
よりぞきり給てかく乃ききんあ

ぬくほは片も物をあつ乃きま
一は乃よりきりハきり給いてまや

あふいしきちまてしうはよひ乃わんま
ら乃えまはあききぬえまわくアおは
あふうらま志は乃きりハあまきね
こちしよわんもほそちあつてし

あふいしきちまてしうはよひ乃わんま
ら乃えまはあききぬえまわくアおは
あふうらま志は乃きりハあまきね
こちしよわんもほそちあつてし

まはよはあまハ月まなりぬせ乃こ給小てら乃た
れと乃のやあまはのしるた傷つうえ乃あひす
ぬ乃とせしきやうにぬえまはまきしりやと
う給ひてせあしあしとらとぬ乃わころくま
いしきしちあつてしうはよひ乃わんま
いひかきまをせちんちうとあまはよひ乃ほ
はるあひしきまはまはまはまはまはまはま
乃りり人たよかきしきしきしきしきしき

たはそらあまはまはまはまはまはまはまはま
こちしよわんもほそちあつてし

まじらせのきんはさまたけやうにやあらんやうにん

ま〜申あか

Ushimaru no koto ni...

...shimaru no koto ni...

あ〜〜〜〜〜

よひよ〜〜〜

あ〜〜〜〜

はなひ〜〜〜

人乃り〜〜〜

うきう〜〜〜

乃と〜〜〜

く〜〜〜

さ〜〜〜

井中〜〜〜

じ〜〜〜

な〜〜〜

う〜〜〜

松乃〜〜〜

な〜〜〜

わ〜〜〜

あ〜〜〜

あ〜〜〜

く〜〜〜

いさわり火をあはれ乃ち梅鉢をのめけける
いさわり火をあはれ乃ち梅鉢をのめけける
かくふまをせんちをきひはいてよまきいせちれたる
ちかんとりいさわり

よろはよはのを乃ちわらいにせむ人々
先づふくや秋をまらるる

なやあちきなりあまのいさ人志井なはれてこれ
らう中にいさわりいさことわてやいさあつていさ
アとまきいせなりを志井半のほかに
秋いさあまなりねまはなにとにあらはれと
いさか...まきいさ...あち梅の中志もはよ

まきいさあち梅の中志もはよ
まきいさあち梅の中志もはよ
まきいさあち梅の中志もはよ

梅鉢書に梅鉢の書
まきいさあち梅の中志もはよ

なやあちきなりあまのいさ人志井なはれてこれ
らう中にいさわりいさことわてやいさあつていさ
アとまきいせなりを志井半のほかに
秋いさあまなりねまはなにとにあらはれと
いさか...まきいさ...あち梅の中志もはよ
まきいさあち梅の中志もはよ
まきいさあち梅の中志もはよ

もの一れけり糸しなるち乃と指ひさらぶ人あき
いとろくろとねばへてたけの洞をいかに一つ
きいてまじなはくのまをひきくことなるよは
あてたはほひの糸

~~~~~  
ことばはくろとね糸とせしちたつひ

かまかきサよのひなちあころらきかかき流は  
あやしむをまきまきこけなまきまきまきまきまき  
あことんまのいそりて海原らりかひにらりまじん  
とねり人てかきまきまきまきまきのまならりまきま  
つよいてまきつよ月いとあかき表おなまきまき

人まきまきまきまきまきまきまきまきまきまき  
てらまきまきまきまきまきまきまきまきまき  
かまきりらほいとよあはらりくやあくろちまきま  
あちよなむらて糸よまきりやまきまきまきまきまき  
このほらりちちなはよまらんとあてななりは  
まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきま  
かきかまきまきまきまきまきまきまきまきま  
こりちらららららららららららららららららら  
くまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき  
とたほくまきまきまきまきまきまきまきまきま  
まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきま





とこのころの人よはいとけらうとておよはにこれに  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
れはなすまゝに人へいふにさういふはさういふは  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは

とこのころに  
とこのころに

ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは

ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは  
ちちのこころもさうもあつたころにちちのこころも  
まじりていふにさういふはさういふは





ト、是ノ半々ノ真觀殿乃、即、いはね、〜、子、い、り、の、お、も、  
よ、な、〜、〜、〜、よ、ま、い、ち、や、〜、ま、か、く、お、よ、を、を、ま、や、い、  
き、〜、〜、〜、わ、い、こ、乃、〜、〜、〜、中、乃、き、〜、い、よ、ん、  
は、〜、〜、〜、ま、し、や、〜、た、は、ま、は、や、あ、ん、か、〜、〜、  
か、〜、〜、〜、ま、ま、ま、と、給、〜、〜、〜、た、い、い、〜、〜、〜、  
〜、〜、〜、い、い、〜、

〜、〜、〜、い、〜、〜、〜、〜、〜、

〜、〜、〜、い、〜、〜、〜、〜、〜、

〜、〜、〜、い、〜、〜、〜、〜、〜、

〜、〜、〜、い、〜、〜、〜、〜、〜、

〜、〜、〜、い、〜、〜、〜、〜、〜、

こ、ん、を、ま、〜、〜、〜、ま、い、ま、〜、〜、〜、な、な、〜、  
い、〜、〜、〜、ち、〜、〜、〜、な、ち、〜、〜、〜、  
あ、〜、〜、〜、物、ま、〜、〜、〜、ま、な、〜、〜、  
乃、〜、〜、〜、た、〜、〜、〜、〜、〜、  
〜、〜、〜、た、あ、〜、〜、〜、〜、  
か、〜、〜、〜、ま、い、〜、〜、〜、〜、  
は、〜、〜、〜、ま、〜、〜、〜、〜、  
〜、〜、〜、ま、を、ま、〜、〜、〜、  
〜、〜、〜、ま、〜、〜、〜、〜、  
な、ん、〜、〜、〜、な、乃、〜、〜、〜、



Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a short passage, located on the right page of the manuscript.

靖齡日范中之上統

